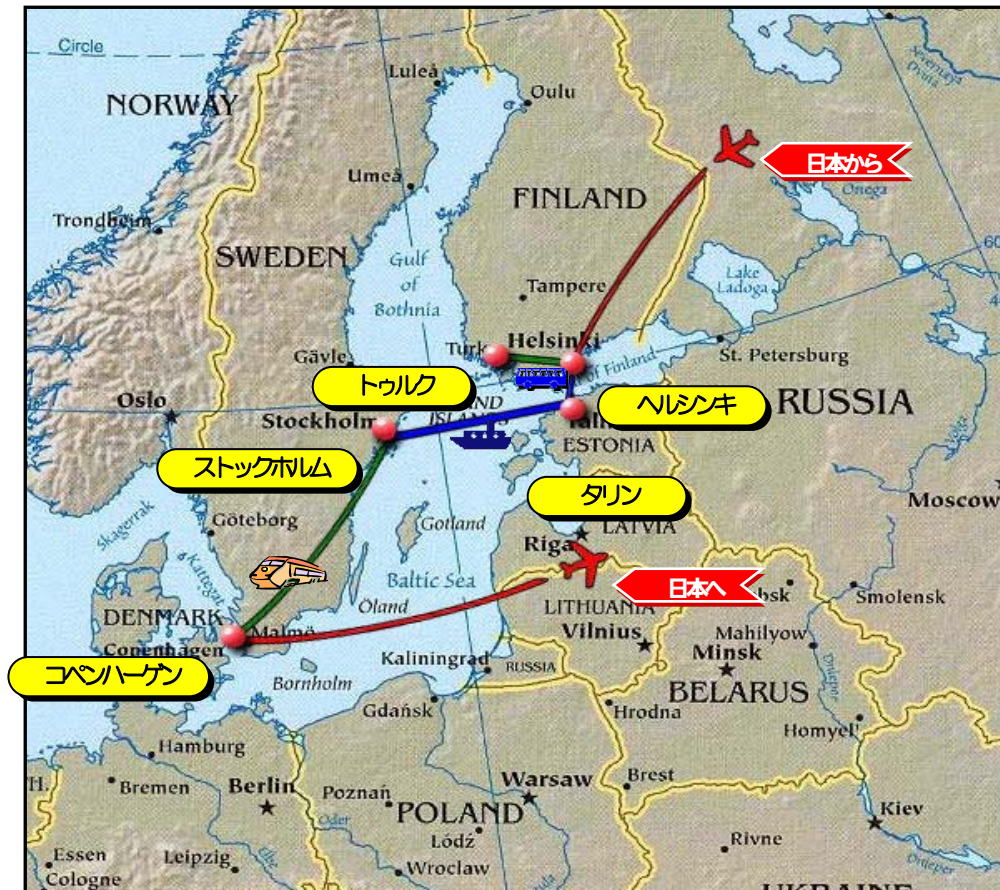


【募集のご案内】

調査期間：2011年9月8日（木）～9月18日（日）＜11日間＞

2011年度 国際住宅・都市計画連合(IFHP) 世界大会参加並びに北欧都市計画事情調査 〔エストニア・フィンランド・スウェーデン・デンマーク〕



協 賛 : (財) 都市計画協会
(社) 街づくり区画整理協会
(財) 都市づくりパブリックデザインセンター
(財) 区画整理促進機構
国際住宅・計画問題協議会

旅行企画・実施：日本通運株首都圏旅行支店

ごあいさつ

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当協会では毎年、国際住宅・計画問題協議会（JASOPH）と共同で海外の都市計画事情を調査するための調査団を派遣し、各国の都市計画関係者と交流を図っております。

今年は、IFHPの第55回世界大会が9月10日からエストニア（タリン）で開催されるのに併せて、周辺都市における環境政策、インフラ整備、都市デザイン等を調査するため、（社）街づくり区画整理協会、（財）都市づくりパブリックデザインセンター、（財）区画整理促進機構からも協賛をいただき、本案内書のとおり調査団の派遣を計画いたしました。

多数のご参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

2011年7月

敬具

財団法人都市計画協会

会長 近藤茂夫



ヘルシンキ



タリン（IFHP世界大会開催地）



ストックホルム



コペンハーゲン

*写真について～掲載している写真は撮影時のアングル・天候など諸条件により、実際にご覧になる景観とは異なる場合があります。

第55回IFHP世界大会は、メインテーマを『都市計画における経済への影響』としており、さらに7つのサブテーマ（①公的資金と民間資金のバランス、②都市計画の財政面の考慮、③住宅改良におけるジレンマ、④住宅建設における経費と社会的・文化的行動の関係性、⑤入手可能な住宅を供給する民間企業の役割、⑥消費者のニーズに対する市場の反応、⑦住宅経済学「危機と未来」）に掘り下げて会議が開催されます。

（第55回IFHP世界大会の詳細につきましては、ホームページ <http://www.kredex.ee/conference-2> をご参照下さい。）

公式訪問都市（予定） ※公式訪問先については、相手方の都合により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

- タリン（エストニア）〔IFHP世界大会開催地〕
- ヘルシンキ市都市計画局（民間委託による低炭素建築と省エネルギー都市開発）
- ストックホルム市役所（ストックホルム最大級循環型都市プロジェクト）
- マルメ市役所（100%再生可能エネルギー利用の住宅地、屋上緑化が注目されるサステナブルエコタウン）

（参考）

1. IFHP = 国際住宅・都市計画連合（International Federation for Housing and Planning）

田園都市運動の提唱者であるエベネザー・ハワードにより1913年（大正2年）ロンドンに設立された。

住宅の改善、新都市の開発を含めた都市計画の理論と実際、地域的、国家的又は国際水準における領域の計画について研究し、推進することを目的とした国際的な非政府組織であり、国際連合の正式なNGOである。

現在、日本人としては大西隆東京大学教授、谷口守筑波大学大学院教授、中井検裕東京工業大学教授が評議員を務めている。

本部はハーグ（オランダ）。ホームページ <http://www.ifhp.org/>

日本での開催	1966年	東京都（第28回世界大会）	1976年	神戸市（国際会議）
	1989年	千葉市（国際会議）	1996年	仙台市（第43回世界大会）

2. JASOPH = 国際住宅・計画問題協議会（Japanese Society for Planning and Housing）

日本国内及び国際間における国土、地域並びに都市計画及び住宅に関する知識と経験の交流連絡を図ることを目的としている。事務局は（財）都市計画協会内。

調査団日程

No	月日(曜)	国	時差	都市名	交通機関	現地時間	予定スケジュール案	*予定見学先など	食事(案)
1	9月8日 (木)			成田空港集合					
				成田空港 発	SK984	11:40	空路にて、ヘルシンキへ		機内食
				コペンハーゲン 着	(予定)	16:05	(所要時間: 14時間30分)		機内食
				コペンハーゲン 発	SK6625/KF	17:30			
				ヘルシンキ 着	(予定)	20:10	着後、ホテルへ		レストラン
ヘルシンキ泊									
2	9月9日 (金)			ヘルシンキ	専用車	午前	公式訪問: ヘルシンキ市都市計画局(予定) 「ユッカ・ノボネン・エネルギー計画」	*民間委託による低炭素建築、省エネルギー都市開発 (ヤトゥカサーリ埠頭地区)	ホテル
						午後	ヘルシンキ市内視察 (アアルト建築とヘルシンキ都市開発区域)		レストラン
ヘルシンキ泊									
3	9月10日 (土)			ヘルシンキ トゥルク	専用車	午前 午後	トゥルクへ移動 トゥルク市内視察 (古都保存区域トゥルク)	*古都保存区域トゥルク (トゥルク城・トゥルク大聖堂)	ホテル レストラン レストラン
トゥルク泊									
4	9月11日 (日)		-6	トゥルク	専用車	午前	ヘルシンキへ移動		ホテル
				ヘルシンキ					レストラン
				ヘルシンキ 発	シヤライン	10:30	フェリーにて、タリンへ移動		レストラン
				タリン 着	(予定)	12:30			レストラン
					専用車	午後	タリン市内視察 (世界遺産タリン旧市街)	*世界遺産タリン旧市街 (850年の歴史を持つユニークな建築群)	
						午後 夕方	IFHP国際会議参加登録 IFHP国際会議開会式		
タリン泊									
5	9月12日 (月)			タリン	専用車	終日	IFHP国際会議参加 *タリン市内視察 (タリン新市街地区)	*タリン新市街 (ロッテルマン地区オフィスビルディング、 ラスナマ工室内競技場、ローツイ集合住宅)	ホテル レストラン
				タリン 発	シヤライン	18:00	フェリーにて、ストックホルムへ		フェリー
船中泊									
6	9月13日 (火)			ストックホルム 着	専用車	10:00 午後	着後、市内へ移動 ストックホルム市内視察 (歴史的保存区域ガムラスタン)		ホテル レストラン レストラン
ストックホルム泊									
7	9月14日 (水)			ストックホルム	専用車	午前 午後	公式訪問: スtockホルム市役所(予定) 「ハンマビー臨海地区の再開発プロジェクト」	*ストックホルム最大級循環型都市プロジェクト (電気エネルギー効率、ゴミ処理を徹底的に考え 環境に配慮したサステナブルシティ)	ホテル レストラン レストラン
ストックホルム泊									
8	9月15日 (木)		-7	ストックホルム	専用車	午前	ストックホルム市内視察 (建築博物館など)	*建築博物館 (スウェーデン国内の建築や都市計画資料の展示)	ホテル
				ストックホルム 発	X2000	14:21	列車にて、コペンハーゲンへ		レストラン
				コペンハーゲン 着	(予定)	19:31	着後、ホテルへ(所要時間: 5時間10分)		レストラン
コペンハーゲン泊									
9	9月16日 (金)			コペンハーゲン	専用車	午前	公式訪問: マルメ市役所(予定) 「バストラハムネン住宅地、オーグステンボリ環境共生住宅」	*バストラハムネン住宅地(ターニングトルソ) (100%再生可能エネルギーを使用する住宅地)	ホテル
									レストラン
					専用車	午後	公式訪問: コペンハーゲン環境・エネルギー事務所 「ミドルグロン風力発電所」	*オーグステンボリ環境共生住宅 (屋上緑化が目されるサステナブルエコタウン) *ミドルグロン風力発電所 (脱化石燃料に大きく貢献する大規模風力発電)	レストラン
コペンハーゲン泊									
10	9月17日 (土)			コペンハーゲン 発	専用車	午前	コペンハーゲン市内視察 (アメリカンボー周辺地域)	*アメリカンボー周辺地域 (王立図書館、ニューハウンなど)	ホテル レストラン 機内食
					SK983	15:45	空路、帰国の途へ (所要時間: 10時間50分)		
11	9月18日 (日)			成田空港 着		9:35			機内食

*上記の日程は現地の事情により変更になる場合がありますので予めご了承下さい。

*利用予定航空会社=SK:スカンジナビア航空

参加募集要項詳細

- ◎ 旅行代金 : 590,000円(1人部屋を1名様にて利用)
- ◎ 募集人員 : 20名程度(最少催行人員15名)
- ◎ 申込締切日 : 2011年8月5日(金)※ただし、定員になり次第締め切ります。
- ◎ IFHP登録料 : IFHP登録料及び登録代行手数料は含まれておりません。(下記参照)
- * 2人1室利用の場合 : 上記旅行代金より57,000円減

【旅行代金に含まれるもの】

航空運賃: 旅行日程に記載の航空運賃(エコノミークラス)・各国空港諸税・成田空港施設使用料・燃油サーチャージ
利用予定航空会社 SK: スカンジナビア航空

宿泊料金: 各都市において1人部屋を1名様にて利用(8泊朝食付・税・サービス料含む)
利用予定ホテル(または同等クラス)
ヘルシンキ: ソコス・プレジデンティ、トゥルク: ラディソン・ブル・マリナー・パレス、タリン: メリトングランド・カンファレンス
ストックホルム: スカンディック・セルゲルプラザ、コペンハーゲン: チボリホテル

食事料金: 旅行日程に記載の昼食・夕食(機内食除く)

現地移動交通費: 旅行日程に記載の移動及び調査・視察のための専用バス料金

公式訪問経費: 公式訪問の際の専門通訳料金(3都市3日間)、謝礼、土産代金等

現地調査経費: ガイド、アシスタント、施設利用料等

添乗員経費: 全行程にわたり、添乗員が同行、お世話します

その他諸経費: 団体行動中のチップ、渡航手続手数料(出入国書類作成等)、手荷物運搬料金(利用航空会社におけるお一人様スーツケース1個の手荷物運搬料: エコノミークラス重量は手荷含め20kgまで)
ポーター料金(利用可能なホテル並びに空港)

【旅行代金に含まれないもの】

IFHP登録料及び登録代行手数料: IFHP登録料(*IFHPメンバー料金EUR480)及び登録代行手数料(5,000円)

渡航手続実費: 旅券印紙代(5年用11,000円又は10年用16,000円) * 旅券新規取得者のみ

個人的費用: 飲食代、クリーニング代、電話代、超過手荷物料金、ルームサービス、任意の旅行保険料、その他個人的性質のもの、日本国内におけるご自宅より成田空港間の交通費、現地オプションツアー代金等。

ビジネスクラス追加料金: 330,000円

ご旅行条件(抜粋)

お申し込みの前記下記の「海外旅行募集型企画旅行条件(抜粋)」を必ずお読みください。

● 募集型企画旅行契約

- (1) この旅行は、日本通運㈱ 観光庁長官登録一般旅行業第19号(以下「当社」といいます)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行を締結することになります。
- (2) 募集型企画旅行の内容・条件は、当パンフレット以外に、契約月日による募集型企画旅行約款に基づく契約書、及び出発前にお渡しする旅行確定書面によります。

《 旅行のお申し込み方法 》

所定の旅行申し込み用紙(所定の事項を記入し、下記旅行会社宛に郵送又はファックス送言でも受付させていただきます。申込書受領後、渡航前に関するご案内と申込金(5万円)請求書又は旅行代金一括請求書(ご希望の場合)を送付致します。

旅行契約の成立時期

お客様との旅行予約については、当社の契約締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。但し、当企画旅行予約においては、指定期日までに旅費全額一括お支払いご希望の場合は、申込金の支払いを受けなくても契約締結を承諾することがあります。(お問い合わせ下さい)

旅行代金のお支払い

旅行代金は、出発日の前日から起算して21日前までに、残金(申し込み金を差し引いた金額)又は全額をお支払い頂きます。残金を受理後、速やかに最終旅行確定書面(更詳しい旅行条件書)を発行させていただきます。

● お客様からの旅行契約の解除

お客様は、いつでもお定められた取消料(お1人様につき)をお支払いいただくことにより、旅行契約を解除することができます。この場合、既に収受している旅行代金(あるいは申込金)から所定の取消料を差し引き払い戻し致します。申込金のみで取消料不足の場合は、その差額を申し受けます。

旅行出発の前日より起算して次の取消料を申し受けます。

☆ 出発の31日前まで	旅行代金の10%(ピーク時のみ)
☆ 出発の30日前から3日前まで	旅行代金の20%
☆ 出発の2日前から旅行開始当日まで	旅行代金の50%
☆ 旅行開始後、無連絡不参加	旅行代金の100%

● 特別補償

詳細は後日お送りする「条件書」をご参照下さい。

● 旅程保証

● 当社による旅行契約の解除(旅行開始前)

当社は次の場合同様に、旅行予約を解除することがあります。

- (1) お客様が病気その他の事由により、当該旅行に耐えられないと認められたとき。
- (2) お客様がその他のお客様に迷惑を及ぼし、又は団体旅行の円滑な実施を妨げる恐れがあると認められたとき。
- (3) 参加者の数がパンフレット等に記載した最少催行人員に達していなかったとき。この場合は旅行開始日の前日から起算してさかのぼって24日目に当たる日より前ご旅行を中止する旨を通知します。
- (4) 天災地変、戦乱、運輸機関における争議行為、官公署の命令その他の当社で管理できない事由によりパンフレット等に記載した旅行日程に従った旅行の安全かつ円滑な実施が不可能となり、又は不可能となる恐れが極めて大きいとき。

● ご旅行条件・ご旅行代金の基準

この旅行条件は、2011年7月5日基準としています。また、旅行代金は2011年7月5日現在有効な運賃・規程として算出しています。

● 旅券の残存有効期間: フィンランド共和国、デンマーク王国=出国時3ヶ月以上有効なもの
スウェーデン王国=旅行開始時まで有効なもの。現在お持ちの旅券が有効かどうかの確認、旅券取得はお客様の責任で行ってください。手続代行は渡航手続料を申し受けます。

旅行申込先・旅行に関するお問い合わせ

日本通運株式会社 首都圏旅行支店

観光庁長官登録旅行業第19号
(社)日本旅行業協会正会員

〒105-8322 東京都港区東新橋1-9-3 日通本社ビル18階
Tel: 03-6251-6370(代) Fax: 03-6251-6369

担当: 営業第5課 助川・元田・染野

総合旅行業務取扱管理者 大日方 直人
E-mail i-sukegawa@nittsu.co.jp

IFHP 世界大会参加と調査についてのお問い合わせ

財団法人 都市計画協会

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番22号
Tel: 03-3262-3491 Fax: 03-3262-3475

担当: 企画広報部長 原田

E-mail harada@tokeikyou.or.jp